

日刊ハンパク 4

せしらなる造反へ...

流動化するハンパク

。警署導入への視点。
 昨日深夜における日中館への造反
 昨日日中館に於ける日中館への造反
 昨日日中館に於ける日中館への造反
 昨日日中館に於ける日中館への造反

。市民大学への乱入。
 当初の外在的批判によつての清算主義
 市民大学の入場料徴収は本質的に誤り
 市民大学の入場料徴収は本質的に誤り

坪の会場をつめつくした各所に、教和
 れぬほどの輪がつくられ、暗い地面に
 すわりこんだ小集会が熱くぼく明日の
 自己を語りつつ、市民運動の流動的胎
 動をその身で示している。

8月9~10日深夜版

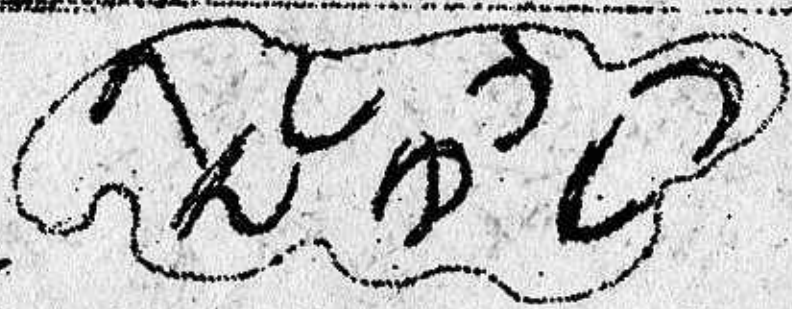
新しい願いをこめて
 (らくがき板より採集)

君 子供の歌を聞
 いたら
 子供の歌を聞
 いたら
 子供の歌を聞
 いたら

君 子供の歌を聞
 いたら
 子供の歌を聞
 いたら
 子供の歌を聞
 いたら

投稿

へ平連とは他人の主体性
 自発性を重んじる。ところ
 がそれな責任のなれのかくれミソになっ
 てはいないだろうか。自発性を重んじる
 あまり、他人からの批判とか、自分の行
 為を反省することを避けようとする心の
 弱さを助けてはいないのか。たとえば事
 務局の集のどどなご、またそれを許
 した平連の体情、また局員は有志がや
 っているのだが局員権者がない、とい
 う各々平連の主体性のなき、無責任さ。
 モラルの上でも、ゴミがな場に散らつ
 ていても、あまり拾うとしない。自発
 性を重んじますと、事務局員間の意見
 の不一致があつても、なんともなく意見を
 統一見解として出さうともしない。こん
 なことでは官僚主義が必要なのでは？



日発行の日刊ハンパクや三号
 の記事に關し、扱いはおかし
 と全共斗の諸君から抗議を受けた。
 それに対するわれわれの見解は、一
 志専らに明らにしたつもりである。ど
 こでおねがい一つ。投書をもなぐり
 書でも何でもよい。君もかけ。

(10日午後0時記)

娘 討論会

婦人民主化クラブ

むし暑いテント小屋の中に、母ちゃんも息子も娘も、ドサツと座り込んで熱っぽく語る。うぼうのようにハンドマイクをとり、母ちゃんほらちゃんと正座したまま、しゃべりはじめた。

「私は息子のことを殆ど理解していません。未分理解しているのです。学校で封鎖している息子の行動を、本当はうれしく思うの。そう、私と私の子供、とって考えた方をしているの。とはいけないの。といふことが、今はじめてわかったの。子供を他人なのだと思うような気持ちにならないとダメなのね。私は息子のことはわかっていないのです。わかってるの。十分に。」

このわかりすぎた(?)母親に「本当に母と他人と違うことか進歩への一歩か」と息子の方は疑いの姿勢を捨てない。と、とたんに「本当は、感情はそんなことでは消せないものなのよ。でも、でも、これを押しこらすの。かまさんするの。私達の解放のために、オレ、なんとサツパツとして世界は、母親の世界は、もーと、母ちゃん」

「ん、本当にわかってね。」

パチンコ反戦

「憎い奴等は撃ち殺せよ」
「声なき声」連合主催のゴム、パチンコ大会。
おなじみの⑤のお兄様、ソッパ君へ岸首相、キト印ヘゲン、カオキ南ベトナム首相、栄ちゃんらの愛うしく、憎らしい顔かたじけなくてすうりと並ぶ。ヘルメットの闘士が必死でぬらうかなかなかあたらぬ。い、倦って、斗争に対する姿勢が強いのか？
パチンコ、ローザも腕をふるっていた。皆さんもパチンコで腕みかき景品として70年パチンココンクールで憎い奴等を撃ち殺せよ

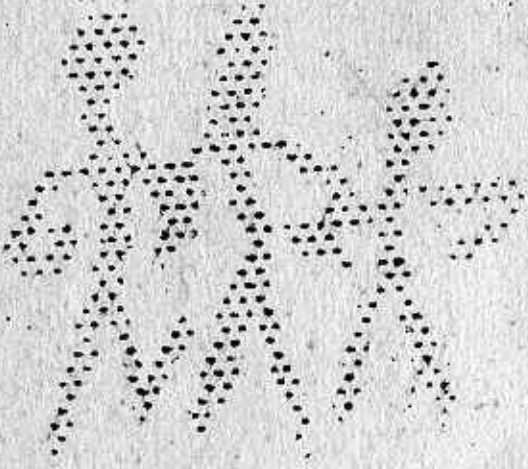
三里塚からぼるぼるマイク回バス
こもってきたドラムかん一何、機動隊が来たら、カンカン叩いて知らせてやるよ。あぶなくならう、ドラムかんの中に、入って、向うへ行ったら、まは叩いて叩きまくってやるんだ。三里塚じゃ、村にこんなのが、教団、各々

ハンパク風物詩

豪雨のあとに
一夜にして大阪城下に大入ラム街出現、第一日の光景は何とまらかえにのかわかハタまつりまながらの日中館の運動会ムドに少々かっかり、
米一日目の遊反(オニ号記事参照)によって日中館は自己批判し、商品展示場も大縮小したのでわれらのハンパクムドも次第に白熱化してきた。
おりからの集中豪雨に毛布や衣料も泥にまみれ、ぬかるみの中にハンパクがある。会場も次第にスラム化し、ハアニングも乱調を呈してきた。
この調子でいくと今後の展望にも一すじの先あり、
これに、おそれと化した、大阪府警は全国のポリを大阪に集中することを、サトへ道中との風聞もある。

三里塚のび

家庭には石油かんがそなえてあるんだよ、それが、いっせいに鳴り出すと、飛ぶ鳥も落ちるといふほどの威力があるよ。
ハンパク期間中、時報を教だけ叩いて知らせるか、正確な時間を教えてもらうよ。



十日のプログラム

11時-14時半	「男と女の討論会」
15時-19時半	「ハンパク市民大学」文学と情念」高橋和己、いたもも、真継健彦
20時-23時	「ベ平連全日集会」
23時-	「徹夜ライオン」高校生運動について」
大テントB	
17時-18時	「ベトナム戦争体験者」リリス
大テントC	
10時-13時	「毛沢東思想学習会(日中正統)」
13時-18時	「討論会(日中友好運動について)」
18時-21時半	「講演会(井上清)」
ハンパク劇場	
10時-11時	「人形劇」
11時-13時	「白雪姫」
13時-14時	「戦場のピクニック」
14時-16時	「幕のペンキペインティング」(国家、先軍、自虐)」
16時-17時	「人形劇」
17時-20時	「ライオン」評にこそ反戦民衆は何か」
20時-21時	「白雪姫」
21時-22時	「戦場のピクニック」
22時-23時	「幕のペンキペインティング」
23時より	「反戦あるいは愛」
音楽ステージ	
六時より	「レコード長三サット」解放区村」
その他	
8時-10時	「フックソング(うしろの会)」
12時-14時	「百玉座会」
14時-17時	「フックソング(うしろの会)」
17時-21時	「フックソング(うしろの会)」
21時-22時	「自玉座会」
22時-23時	「自玉座会」
10時-12時	「ベ平連全国会議(市民会館)」
13時-15時	「日中集会(市民会館)」
17時-	「北極ベ平連、定例行動(市民会館)」